

高橋 紀子 さん (m.n. factory)**どんな事業をしていますか？**

主に企業に対して人材育成・人材開発のコンサルティングや研修・セミナー、従業員へのカウンセリングを行っています。

また、大学や行政でのキャリアデザイン・就職・再就職支援講座など、「人とキャリア」に関する課題解決を幅広く行っています。

さらに、メンタルヘルスケアやロジカルシンキング、ワークライフバランスなど、多様化するニーズにお応えしてテーマを広げています。

起業のきっかけは何でしたか？

大学卒業後、正社員として広告会社に勤めましたが、結婚を機に退職し、塾などでパートタイムとして働きました。その後、妊娠を機に専業主婦になり、子どもを2人育てました。1人目の子どもが2歳の頃、広告会社に勤めていた時の同僚がパソコン教室を開いたので、見学に行って目にした同僚の姿を羨ましく感じたのと同時に、仕事が好きな自分に気が付きました。同僚の影響もあってフリーランスを意識し始め、そこから自分は何がしたいのかを考えました。そして、「文章を書くこと」が好きだったことから経営者インタビュー記事のリライトを始め、少しずつ広告制作の仕事を広げ、その後、m.n.factoryを開業しました。

当時、「仕事を始めました」と何気なく年賀状に書いて出したところ、広告会社と一緒に仕事をしていた2人の方から思いがけず仕事の依頼がありました。そこから企業の会員向けニュースレター（冊子）の編集と、子育てママ向けのポータルサイトの立ち上げに並行して携わることになりました。

そうした仕事を通して日常的に経営の話やコンサルティングの知識を耳にするようになり、また出産や育児についても相談されるようになりました。

日々の仕事の中で相談業務に面白さを感じていたことから、キャリアカウンセラーの資格を取得し、仕事の専門性を高めていきました。

起業してよかったこと、楽しかったことは何ですか？

どんな仕事をどういったスケジュールで進めるかなど、全て自分で仕事の設計ができることです。

「こういうことをやりたい」「こういう人に会いたい」と考えて実行しようとしても、会社に勤めていると越えられない枠が出てきますが、フリーランスは何もかもが自分次第です。

自分で決めて仕事を作っていくところが非常に面白く、それが醍醐味だと思います。



事業を拡大、または新サービス・商品を開発する中で乗り越えてきた課題は何ですか？

起業当初、一度仕事を断ると次の仕事が来なくなるのではないかと不安で、依頼された仕事を断ることができなかったことです。

また「自分がやらなければ」「結果を出さなければ」という思いから、自分の許容量を超えるほど仕事を受けてしまい、睡眠や家事の時間を削ったこともありました。家族の協力を得て何とか乗り越えることができたのですが、そんな働き方では長く続かないと反省しました。

その後は優先順位をつけて仕事の効率化を図るようにし、自分では手が回らない場合は他の人に仕事を紹介するなど、仕事量を調整するように気をつけています。

今後の夢、将来展望はどんな風にお考えですか？

今後は他者と連携して取り組むような仕事もしていきたいと考えています。

昨年の後半から数人で連携して取り組む仕事が増え、ゼロから作ること、メンバーを巻き込んでいくことのやりがいを感じました。1人で取り組む仕事は比較的規模が小さい場合が多いのですが、何人かで取り組む仕事は金額的にも期間的にも仕事の規模が大きく、社会への影響力もあります。そういった別の面白さがあります。

今後も「人とキャリア」という軸を持ち、様々な人と連携して大きなプロジェクトに取り組み、積極的に仕掛けることをしていきたいと思っています。

他の女性起業家・起業準備者へのメッセージをお願いします。

一つ一つの仕事を丁寧に取り組むことが大事だと思います。例えば、自分で考えた案に対してもすぐにOKを出すのではなく、他にもアイデアがないかと視点を変え、多角的にじっくり考えることで、結果的に1つの仕事からいくつもの企画案が生まれることがあります。そうしたことの積み重ねで自分自身の引き出しが増え、「他の人にはない企画力・発想力」が身につき、それが「私らしさ」＝仕事の付加価値になっているのだと思います。また、自分で自分を振り返る機会を持つことも大切です。

「できているところ」は客観的に認めて自分自身にマルをつけ、また「できていないところ」を見つけたら自信をなくすのではなく、課題として積極的に補っていく・・・そうした自己評価を適切に行うことで、少しずつ成長できるのではないのでしょうか。



企業情報

商号 m.n.factory
業種 専門・技術サービス業
起業年 2005年
企業HP <http://www.mn-career.net/>
所在地 香芝市

